



▲多くの人に愛されている別府鉄道(郷土資料館)

▶12月の冷たい風が、1年の終わりを告げるように吹き抜けています。日が落ちるのがさらに早くなりましたが、暗くなると家々からこぼれる灯りや漂ってくるおいしそうな晩ご飯の匂いにどこかほっこりしますね。一段と寒さが増す年の瀬です。私の厚さ(熱さ)は相変わらずですが、みなさま体調など崩されませんように。

▶みなさまは別府鉄道をご存じでしょうか。播磨町宮西にある多木化学株式会社様により敷設された鉄道で、土山駅と加古川市別府町を結び、大正12年の開通から昭和59年に廃線となるまでの62年間「多木のガッタン」という愛称で親しまれました。現在はその役目を終えた機関車と客車が、播磨町郷土資料館の横に展示されています。この度、傷んでいた座席シートが張り替えられ、運行当時のきれいな状態にもどりました。実際に乗ることのできる数少ない展示車両です。鉄道ファンの方に限らず、近くにお立ち寄りの際は、ぜひ乗ってみてください。また、お隣の郷土資料館ではいろんなグッズを販売しています。こちらもお覧いただけたらうれしいです。

▶この秋もほんとうにたくさんの行事がありました。すべてを拝見させていただくことは叶いませんでしたが、時間の許す限り参加させていただきました。ひとつの行事を準備、運営するだけでも大変なことだと思います。それを毎年継続して実施いただいている関係者のみなさまに心より感謝申し上げます。行事やイベントを通じて地域につながるの輪が広がり、笑顔いっぱいのまちになるよう、みなさまとともに歩んでまいります。

▶2024年もいろんなことがありました。あっという間でしたがとても充実した1年でした。みなさまにとってはどんな1年だったのでしょうか。年末年始、少しだけ立ち止まり、振り返ってみるのも大切ですね。

こころとからだをしっかりとリフレッシュして、新しい年へ出発進行～!

播磨町長 佐伯 謙作



## あんぜん・あんしん暮らしのメモ帳

播磨町消費生活センター ☎079-435-1999

ご相談は…お電話ご来訪どちらでもご相談ください。ご来訪の場合、産業環境課窓口にお声がけください。

▶相談日時 ※専門の相談員が相談に応じます。  
毎週月・火・木曜日(祝日、年末年始を除く)  
9時～12時 13時～16時

### 屋根工事 雨どいの修理トラブル急増中 「保険金が使えない」と言われたらご用心! 突然自宅に訪ねてきた業者を家にあげないで!

**事例**  
突然事業者が訪問して、「以前に降った雪や台風が原因で家屋に壊れたところはないか。無料で点検をする。当社が見積もりを出せば、保険が適用されて、保険金が出るので、自己負担0円で修理ができる。保険金の請求手続きも代行する。」と言われた。この業者は信用できるか。(契約当事者…70代 男性)

**ひびく助言**  
●突然訪ねてきた業者に簡単に点検をさせないようしましょう。  
●防犯上、知らない人が訪ねて来てもすぐに玄関を開けず、必ずインターホン越しに身分を確認しましょう。  
●はじめは、安価な修理金額を提示して

契約をした後に、「他にも修理するところが見つかった」と言われて高額な工事をすすめられるケースがあります。注意しましょう。  
●「保険金が使えない」と言われても、契約内容によっては保険金が出ない場合があります。業者の説明をうのみにせず、ご自身で加入している保険会社に確認しましょう。  
●保険金の請求は、代行を依頼しなくてもご自身で出来ます。保険会社に相談しましょう。  
●トラブルにあつたり、不安に感じたらすぐに播磨町消費生活センターにご相談ください。



### 楽屋裏

土山駅南交流スペース(ぎつずなホール)のモニターで、播磨町のことを紹介する映像やお知らせを放映しています。令和5年度に実施したPR動画コンテンツの入賞作品もご覧いただけます。どれも、播磨町の素敵な魅力を再発見できる秀逸な作品ばかりです。また、「はりまタウンプロモーション委員会(町職員)の手作り動画も放映しています。ぜひ、ぎつずなホールにお立ち寄りください。(宮)

## きゅんぱすだより

### 播磨幼稚園

みんなと一緒にバルーンをしよう!  
(異年齢の関わり)

「一緒にしよう」「上から持つよ」と年長児に優しく声を掛けてもらいながらバルーンをする年中児と年少児。音楽が始まると、嬉しそうな表情でパタパタとバルーンをゆらゆらしています。次は手をピーンと伸ばしてメリーゴーランドの技にも挑戦。運動会の競技でバルーンをしていた年長児の動きをよく見ていたことが分かります。バルーンが終わってダンスが始まると、参加している子どもたちだけで

はなく、幼稚園の色々なところでダンスが始まり、みんなノリノリです。  
憧れの年長児と一緒にバルーンができて嬉しい年中児と年少児。年長児は昨年、自分たちが輪の中に入れてもらった経験が、今年の優しい姿につながっていて、成長を感じます。  
異年齢とのあたたかい関わりを子どもたちも先生たちも喜んだ時間でした。



▲バルーンのおやまができたよ!



▲皆でおしりフリフリ

### 最近のまちアドおしゃべり会の様子

「まちづくりおしゃべり会」は週ごとに「コミセ」を回りながら町民のみなさんの相談を聞いたり、役場のどこに聞いていいかわからないといった話をうかがう機会として開催しています。今回は最近の様子をお知らせします。

まちアドおしゃべり会をはじめ3年近くが経ちました。毎週約2時間、4つのコミセを順番にうかがってお話できる時間をつくっています。1週目は野添、2週目は南部、3週目は東部、4週目は西部にいます。広報はりま11月号でお知らせしたように、ここの相談から地域の居場所が立ち上がることもあります。他にも、保護者の方から学校に関する相談があったり、自治会活動の今後について相談があったり、内容は多岐にわたります。もちろん相談がなくても、「最近播磨町のまちづくりってどう?」といった話を聞



きにえられる方もいらっしゃると思います。些細なことでも構いませんので、ぜひご参加ください。おしゃべり会の日程は、毎月コミセにより情報広場に掲載しています。おしゃべり会に来られない方も、まちづくりについて相談したい!ということがあるらぜひ協働推進課までお問い合わせください。

【まちづくりアドバイザーとは】 播磨町では、多様化・複雑化する地域の課題やニーズに、より細かく対応するため、2020年度より「まちづくりアドバイザー」を配置しています。自治会活動やコミュニティ活動、自主的なまちづくり活動について専門的な視点から支援します。

まちづくりアドバイザーがお届けする

### まちアド通信

協働推進課住民協働係  
☎079-435-2364